

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

（2022年3月実施）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			利用定員5名に対して、指導訓練室等のスペースは適応していると思われる。また、個別での環境設定も行っている。
	②	職員の配置数は適切であるか	8			常時4～6人の職員を配置している。
	③	職員の専門性は適切ですか	7	1		実務経験のある有資格者を配置している。
業務 改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1		常勤、非常勤を含めて、支援の目的を常に共有する様にしているまた、共通理解にも努める。
	⑤	保護者等向け評価票を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			外部評価アンケートを実施し、職員間で分析し、課題を共有した。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			利用者への結果配布と事業所内掲示。ホームページへの公表を行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	1	外部評価については、施設内の掲示のほかホームページへの公表を行い、内容につき職員間で情報共有・検討し業務改善を図っている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		オンライン研修などの受講後は、その資料を共有し全職員がスキルアップできる機会を作っている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		半年ごとに個別支援計画を作成し、保護者面談を行っている。長期休暇時の細やかな課題設定になる様に見直し検討。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	1		診断書や検査結果を保護者から提出してもらっている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		常勤、非常勤を含めて、意見交流を行っている。今後は細かな設定にも努める年間計画・月予定を作成し、一つの活動が次につながるよう心掛けている。地域イベントはコロナ禍のため中止が続いている。
	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	7	1		6か月ごとに、児童の成長や新たな課題について検討し、内容見直しを行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2		施設内外の活動のバランスに配慮し、社会性を育てることを大きな共通課題としている。
	⑭	子供の状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2		毎日役割分担を（ホワイトボードにて）確認。行事・活動については事前協議を行っている。常勤、非常勤を含め朝礼、終礼時に確認。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			記録ノートを記入し、業務終了後に非常勤を含めて振り返りを行い、次回支援につなげている。
	⑯	支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	8			日々提供記録を取り、打ち合わせ時や支援計画の作成時に活用している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			6か月ごとに、児童の成長や新たな課題について、職員間で共有検討し、内容の見直しを行っている。
関係 機関 や 保 護 者 と の 連 携	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8			ガイドラインに沿った支援。施設内外の活動のバランスに配慮し、社会性を育てることを大きな共通課題としている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	2		相談支援事業所とも密に連携し、担当者会議には児童発達管理責任者が参画している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			常に連携を働きかけ、情報共有や連絡調整に努めている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	3		医師（嘱託医）やかかり付け病院と児童のこについて、相談できる関係ができています。また、主治医の情報提供書を頂いている。
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8			出来るだけ問い合わせや要望に対し、情報提供等の協力を行うようにしている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	6		移行ケースはまだ発生しておらず、今後スムーズな移行のため積極的に連携していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ場での支援内容等の情報を提供する等しているか	5	3		コロナ禍のため、オンラインでの会議や研修に参加。連携関係を保っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	5	2	コロナ感染症予防のため、地元（学校）との交流の場が持てない状況である。今後は状況を見ながら計画調整していく
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	1	2	5	11/25会議へ参加し、職員間にも情報共有している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	4	1	連絡帳や送迎面会時に家庭での様子・施設での様子を情報共有している。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉘	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			日々の様子を共有をする中で、保護者の悩みや課題に寄り添うよう努力している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	4		契約時にすべて説明し、保育的な活動方針も配布している。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			随時相談を受け付け、窓口として電話のほかLINE開設も準備中である。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			年2回の親子ふれあい会や保護者同士の交流も、コロナ感染症対策のため中止している状況である。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	3	3	相談窓口設置のお知らせ掲示と投書箱を2カ所設置し、苦情に対し迅速に対応出来る体制をとっている。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			毎月の行事予定や同法人の新聞の配布をしている。初めて園発行の新聞も配布した。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	8			データや個人情報は事務所出入口を施錠して管理している。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		先入観や思い込みではなく、子どもの前後の行動・様子から思いを読み取る努力をしている。
非 常 時 の 対 応	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	3	コロナの影響で法人内の行事（夏祭り、合同運動会、クリスマス会）も中止となっている。
	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	1		緊急時の対応、防犯、感染症のマニュアル完備。緊急時対応マニュアルは個人ごとに整備し、家族の同意を得ている。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そのほか必要な訓練を行っているか	8			6ヶ月に1回は非常災害避難訓練を実施している。
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			3ヶ月ごとに虐待防止定例会を開催し、職員へ周知している。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			身体拘束防止研修会を開催し、職員へ周知している。健診の採血時については、事前に家族の同意をもらっている。
	㊶	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	1		外部委託業者へアレルギー情報を提供し、配慮されたメニューにて提供。
	㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			事故ヒヤリが出た場合にはすぐに対応、分析するようにしている。また、母体施設のリスク会議に参加し、他施設情報も共有している。